

## トライアンエレベーター MLF-900B トラブル解除方法

操作盤内故障モニター（図1参照）を確認下さい。

### ① 過負荷ランプ点灯の場合(図2参照)

操作盤内のサーマルリレーボタンを押す

### ② ガバナスイッチランプ点灯

原因:安全装置(ガバナ装置)が作動している

対処:本体横のガバナスイッチ解除用レバーを引き上げて解除する(図3参照)



#### ②-1 レバーが上りきらない又は上ってもすぐに戻ってしまう(図4参照)

原因:ガバナ装置作動金具(プロペラ)が引っかかっている為。

対処:ガバナスイッチ本体上部カバーを開け、作動金具(プロペラ)の引っかかりを解除した後ガバナスイッチ解除用レバーを引き上げて解除する

#### ②-2 レバーが全く上らない(図5参照)

**注)以下の復旧作業を行う前に、図5に記載してあるマグネットスイッチの状態を必ず確認してください**

原因:ガバナ装置のストッパー爪がレールのラックに噛み込んでいる為。

対処:電源が落ちている場合は、操作盤内の「左側のPB-3」ボタンを押しながら「電源入」(緑のゴムキャップボタン)を押して電源を入れる。



「左側PB-3ボタン」はまだ押したままです。放すとまた電源が落ちます。

本体扉、各階扉が閉まっていることを確認し、「左側PB-3」ボタンを押しながら「上」ボタンを押して本体をほんの少し上昇させストッパー爪の噛みこみを解除。ガバナスイッチ解除用レバーを引き上げて解除する。

※「上」ボタンを押すと、低い方の昇降部が上昇します。

※電源が落ちていない場合は「電源入」の作業は必要ありません。

※絶対にこの時「下」ボタンは押さないで下さい。

### ③-1 搬機側ドアのランプが点いてエレベーターが動かない。

原因:本体ドアが開いているか、扉リミットの当たりが悪い

対応:本体ドアが開いている場合は、ドアを閉め、ランプの消灯を確認する  
本体ドアが閉まっている場合は、扉リミットの当り不良が考えられるので  
ドアを閉めたまま前後に2、3回小刻みに動かし、ランプの消灯を確認。

### ③-2 建屋側ドアのランプが点いて動かない

原因:各階ステージドアが開いているか、リミットの接触が悪い

対応:各階ステージドアが開いている場合はドアを閉め、ランプの消灯を確認する  
各階ステージドアが閉まっている場合はリミットの接触不良が考えられるので  
ドアストッパーが正確にロックされている事を確認。  
上記、確認の上ランプが消灯しない場合は営業担当へご連絡下さい。

### ④ 本体が傾斜したままで動く(自動修正しない)

原因:衝撃等により、操作盤自体が傾いてしまっているため、水銀スイッチが誤作動している。

対処:操作盤の傾きを水平に直す。

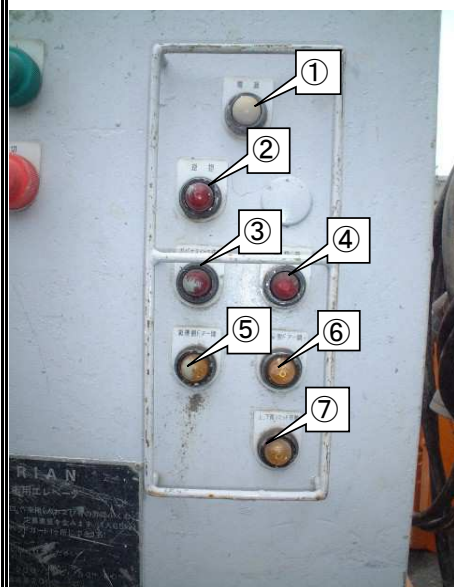
注) トライアンエレベーターは、操作盤側の重量が100kg程重たい為、

操作盤側の昇降機の上昇速度が遅くなる傾向があります。

傾き2°で自動修正するようになっておりますが、何等かの原因で修正しない場合は

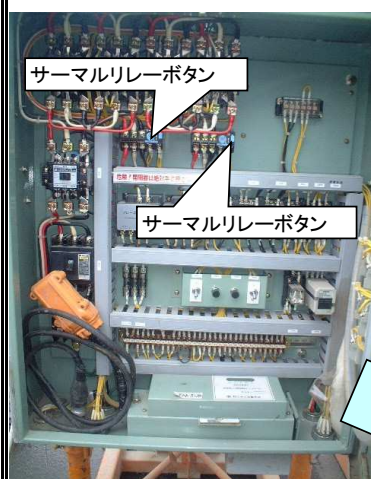
傾き4°にてガバナスイッチが作動し電源OFFの状態となります。

図1 操作盤 故障モニター確認

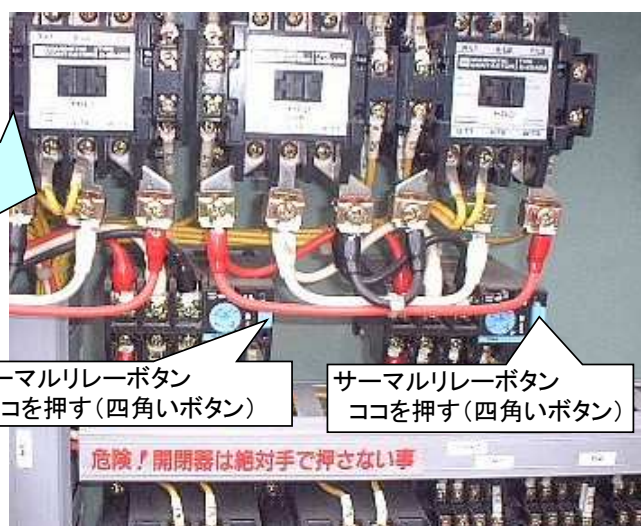


- ① WL1 電源表示灯
- ② RL1 電源の逆相の時点灯します
- ③ RL3 ガバナスイッチ作動の時点灯します  
※安全装置です
- ④ RL4 モーター過負荷の時点灯します
- ⑤ OL1 搬機側ドアが開いている時点灯します  
※EV本体ドア
- ⑥ OL2 建屋側ドアが開いている時点灯します  
※各階のステージドア
- ⑦ OL4 上下限リミットスイッチが作動している時点灯します

図2 過負荷ランプ点灯の場合

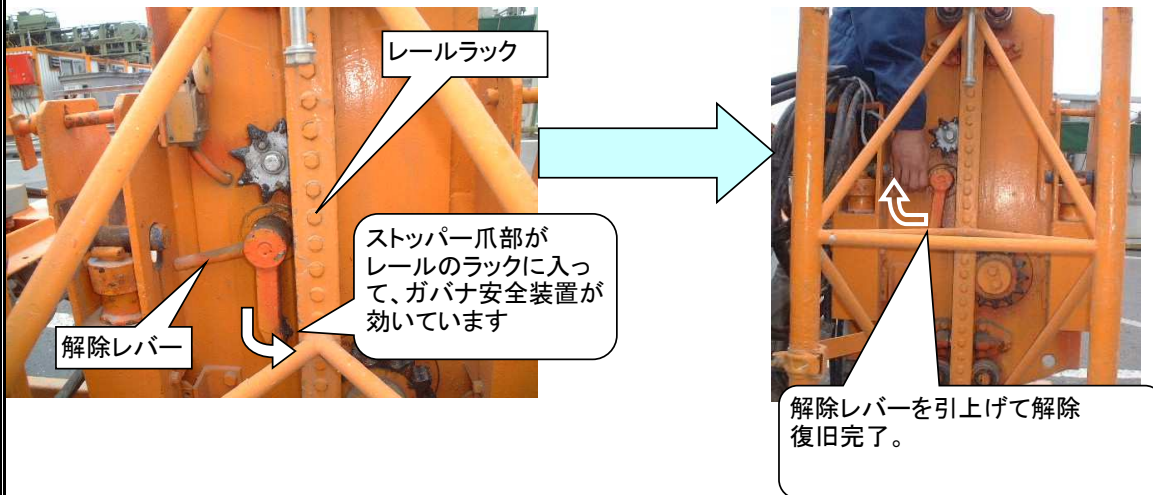


操作盤内の**左右のサーマルリレーボタン**を押し、解除する  
※絶対に手で押さないこと！！

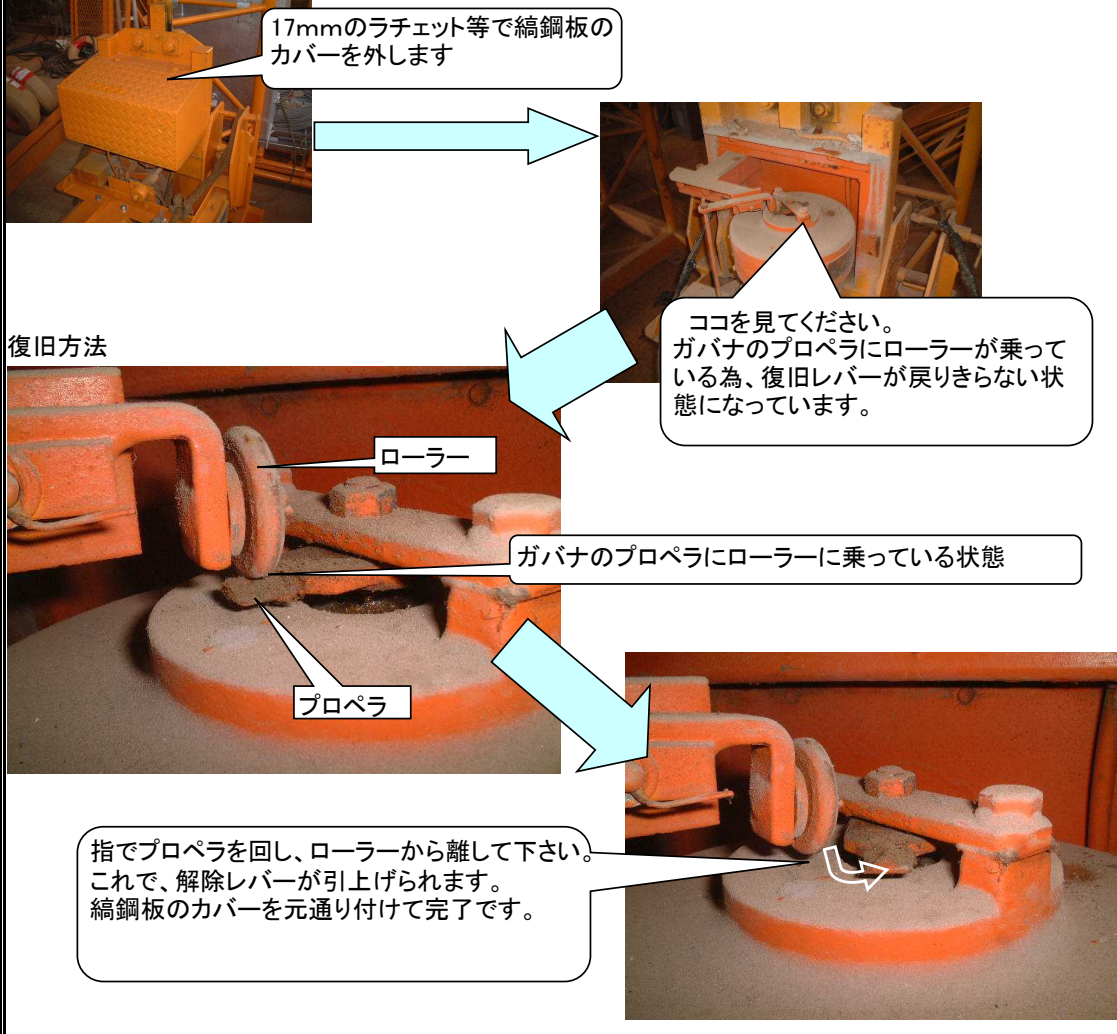


### 図3 ガバナスイッチランプ点灯

EV昇降部裏(レールラックの通っている所です)のガバナスイッチ解除レバーを上げます。  
※ガバナスイッチは運転席側、反運転席側両方に付いています。どちらが作動しているか確認下さい。

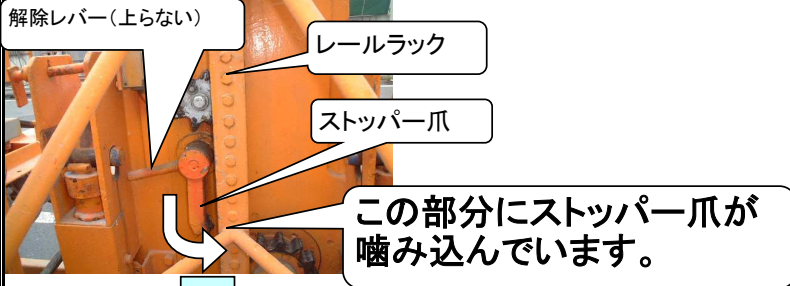


### 図4 復旧レバーが上りきらない、上ってもすぐに外れてしまう場合。



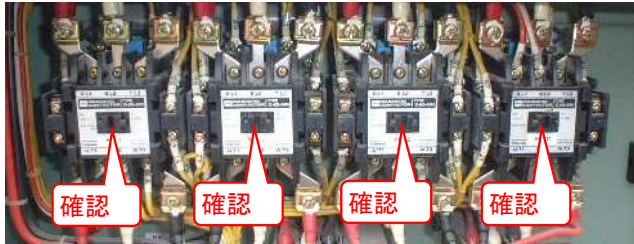
## 図5 解除レバーが全く上らない場合

ガバナ装置のストッパー爪がレールのラックに噛み込んでしまっている為にレバーが引上げられません。

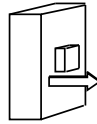


※電源が落ちている場合は、下記の方法で先ず電源を入れます↓↓

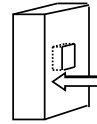
注)下記の電源投入作業を行う前に、必ず下図マグネットスイッチ4個を確認してください。どれか一つでもスイッチの入っているマグネットスイッチがある場合は以降の復旧作業をせず営業担当までご連絡下さい。



『確認』部分のスイッチが1つでも入っていれば復旧作業を中止してください。

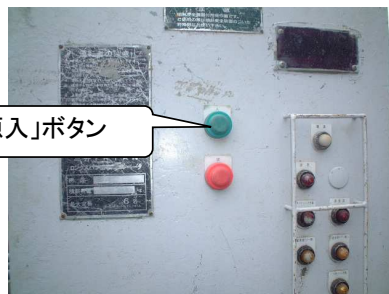
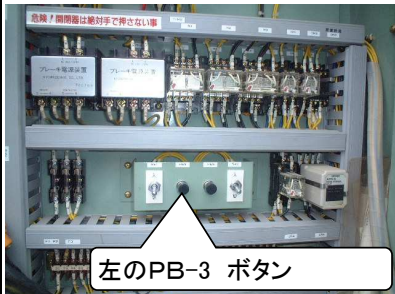


↑OK(出ている)



↑作業中止(入っている)

操作盤内の「左側のPB-3」ボタンを押しながら操作盤外側の「電源入」ボタンを押すと電源が入りますが「左側のPB-3」ボタンは**放さず**に**まだ押したままにしておいて下さい**(放すと電源が落ちます)



次に、EVを少しだけ上昇させ、ストッパー爪の噛み込みを無くして解除レバーを引上げます↓↓  
操作盤内の「PB-3」ボタンを押しながら操作スイッチの上昇ボタンを押し**水平になるように**少しだけ上昇させ、ストッパー爪の噛み込みを無くします。 **注意)絶対に下降ボタンを押さないように。**

